

2 世帯類型別被保護世帯数の推移

平成18年度の総世帯数は108万世帯であり、

○構成割合で見ると、約半数(44.1%)が高齢者世帯である。

○保護率・保護人員数が底であった平成7年度からの変化をみると、いずれの世帯類型も増加しているが、直近では伸びは鈍化している。

	昭和59年度	構成割合 (%)	平成7年度	構成割合 (%)	平成16年度	構成割合 (%)	増加率	
							S59→H7	H7→H16
総数	787,758	100.0	600,980	100.0	997,149	100.0	▲23.7%	+65.9%
高齢者世帯	241,964	30.7	254,292	42.3	465,680	46.7	+5.1%	+83.1%
母子世帯	115,265	14.6	52,373	8.7	87,478	8.8	▲54.6%	+67.0%
傷病者・障害者世帯	355,251	45.1	252,688	42.0	349,844	35.1	▲28.9%	+38.4%
その他世帯	75,278	9.6	41,627	6.9	94,148	9.4	▲44.7%	+126.1%

資料: 福祉行政報告例

(注) 上記の表は、平成17年度より世帯類型の定義を変更したことから、平成16年度以前と比較

世帯類型別被保護世帯数の年次推移

資料: 福祉行政報告例

